

## 九州北部豪雨支援関連 Vol.3

報道関係各位

2012年8月9日

### 民間災害支援団体「CIVIC FORCE」 「私たちががんばってるから」 東北の仮設住宅から恩返しの贈り物

#### 宮城・気仙沼の仮設住宅住民が手作りの雑巾を提供

国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行う民間団体「公益社団法人 Civic Force(シビック・フォース)(本部: 東京都千代田区、代表理事: 大西 健丞)」は、甚大な被害が発生した九州北部の豪雨災害に対し、被災地においていち早く活動を開始した「被災地 NGO 協働センター」(兵庫県神戸市)と、地元団体「レスキューサポート九州」(大分県中津市)を通じた支援活動を、7月18日より開始しています。

被災地では、土砂崩れや家屋の損壊、床上・床下浸水などが起き、死者・行方不明者 32 人に上る甚大な被害が発生しました。また、豪雨がおさまった現在は、30 度以上の猛暑のなか、周辺地域や全国からのボランティアが家屋の清掃や被災した方々のサポートを続けています。

こうした中、Civic Force は、企業や関係団体への物資提供の呼びかけを開始。その一環で、Civic Force 東日本大震災支援事業のパートナー団体である「一般社団法人気仙沼復興協会(KRA)」の呼びかけで、宮城県気仙沼市内 10 カ所の仮設住宅住民の方々が雑巾約 70 枚と巾着袋を手作りしました。そして、「私たちががんばってるからそちらもがんばって」「仮設のみんなで一針一針心を込めて縫いました」「支援してくれた皆さんへ心ばかりの気持ちです」などと書かれた手紙とともに被災地へ届けました。なお、KRA は、気仙沼市全域約 90 カ所の仮設住宅を回りながら、住民の孤立化防止や新しいコミュニティ形成のために活動している地元団体です。これらの物資は、8月10日にレスキューサポート九州を通じて、猛暑の九州北部で清掃活動などを行っている被災者やボランティアが活用します。



なお、その他物資の提供については、ホームページをご覧ください。

<http://www.civic-force.org/news/news-927.php>

◆Civic Force について

国内の大規模災害を支援するプロフェッショナルチームです。企業や行政、NGO との連携を活かして、かつてないスピードで質の高い支援を提供します。

東日本大震災では、平時からの準備により、大震災発生翌日から現地入りし、大規模な支援物資の調達・配送やお風呂の設営事業、離島への大型カーフェリーの就航のほか、NGO との連携し、心のケアや高齢者の健康管理、外国人支援のほか、女性に対するケアなどの活動を東北全土で展開。現在は、「NPO パートナー協働事業」を通じたまちづくりのサポートや中長期的な視点での復興支援事業を実施しています。

◆報道関係者からの問い合わせ先：

公益社団法人 Civic Force 担当：新海

TEL: 03-5213-4930、FAX: 03-5213-4929、Email: [info@civic-force.org](mailto:info@civic-force.org)